



運動型児童デイ みらいドア あいサポートアート展の鑑賞 交流会を行いました♪



平成 29 年 11 月吉日
運動型児童デイ みらいドア

「あいサポートアート展」とは・・・

広島県内の障害のある方が、芸術活動への参加を通じて、生活を豊かにするとともに、広島県民の障害への理解と認識を深め、障害のある方の自立と社会参加の促進に寄与することを目的とされた活動です。2017 年は広島県立美術館にて 10/31～11/5 の 6 日間開催され、広島市内の個人、団体から応募のあった作品約 400 点が展示されていました。

★あいサポートアート展★

完成作品！！



鳥居は牛乳パックの
手作り和紙！
ネームプレートは
卵の殻！！



あいサポートアート展に 見事入選しました！！

運動型児童デイ「みらいドア」では日頃集団運動を中心に活動を行っておりますが、今回は作品作りを通して、子ども達の発想力や創造力育てていきたい！！また、普段は捨てるような廃材を使って作品を作る楽しさ、みんなで協力して一つのものを作り上げる喜びも感じてもらいたいという思いから「あいサポートアート展」への応募を決めました。

そして1ヶ月余りの製作時間を要して作り上げた作品は**見事入選**致しました。自分たちの作った作品を美術館で目にしたときの子ども達の表情は嬉しさに溢れており、きっとココロの中では目には見えない何かを掴んだのではないかと考えております。

みらいドアでは、これからも子どもたちと運動、日々の製作を通し、**集団活動や感動**そして成長の後押しが出来るような取り組みを行って行きたいと思っております！

★交流会★ SUZU CAFÉ で相談会！

プレートランチで
お腹いっぱい◎



あいサポートアート展の鑑賞後は、交流会を実施しました。食事をしながら作品の感想や普段思っている事・悩みごとなどを共有し、職員や保護者同士の貴重な交流の場を持つことができました。

今後もこのような機会を持ち、悩みを抱えている保護者の心のケアも行っていきたいと考えております。

今回は製作から鑑賞会、交流会と初めての試みではありましたが、たくさんの方に参加していただき、誠にありがとうございました。

これからもみらいドアは子どもたち、保護者の方々に寄り添った、企画を実施して参りますので、是非ご参加いただければと思います。